

PSS REPORT 2015

第30期 事業報告書

平成26年7月1日 ▶ 平成27年6月30日

▶ トップメッセージ

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業につきまして格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。PSSの事業進捗について報告させていただきます。

■ 事業の成長による社会貢献とは？

バイオ（遺伝子・タンパク質等）診断システムの提供を通じて

事業目的は、「いつでも、どこでも、誰でも」取り扱えるバイオ診断システムの提供を通じて、その診断情報を有効活用する事により、世の中の多くの人々に快適な生活を送って頂く事です。そのため事業領域における強みとして「自動化システム技術」を活かす事、すなわち「バイオテクノロジー」と日本企業の得意とする「ものづくり」を融合して、事業の成長による社会貢献をはたします。

PSSの技術コンセプトは、「シンプル、コンパクト、メンテナンスフリー」の自動化システムです。このコンセプトが、社会に受け入れられたDNA自動抽出装置は、累計1万5千台以上を世界的な企業を通じてOEM供給しました。現在では研究分野だけではなく、感染症やDNA鑑定等の臨床の現場でも利用されるようになりました。

今後PSSが事業の成長により社会貢献できるのは、この実績と経験を活かした応用展開です。すなわちDNA自動抽出技術（Magtration®）を発展させたバイオ診断システム（全自動化装置と一体化した検査試薬）の製品提供を通じて、世界のより多くの人々に、バイオ診断情報の有効活用による社会貢献に関わる事だと考えています。



プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
代表取締役社長

日島 秀二

■ 業績について

第30期（H27/6）連結業績について⇒参照 連結財務ハイライト

第30期連結業績は、対前期比増収となりました。主な増収要因として、既存製品ではキアングループ及びナノストリング社向けDNA自動抽出装置の販売が好調であった事と、新製品ではアボットグループ向け臨床診断用検体前処理自動化装置の出荷が順調に出荷しただけではなく、エリテックグループからは「geneLEAD XII」のOEM契約締結に伴い手数料の獲得に成功した事によるものです。但し、研究開発費を含めた販売管理費がほぼ前期並みに推移したことから、業績の黒字化は達成できませんでした。

■ 中期事業計画の進捗について

⇒参照 トピックス

PSSは、遺伝子診断市場のトレンドを捉え事業フィールドを研究開発分野から臨床診断分野へ移行し、製品構成は装置中心から試薬・消耗品ビジネスへの転換を掲げ、3か年の中期事業計画を策定しています。その計画に対する第30期連結業績は、売上高が当初計画の45億円を大きく上回る51億円の増収を達成していることから、事業展開は着々と進捗しているものと考えています。

第30期においては、アボット社向けの試薬製造受託への対応並びに、同じく上市予定のエリテック社向けDNA抽出試薬の製造を開始するため大館試薬センターが本格的に稼働を開始致しました。

今後は新製品の開発・販売活動と臨床許認可（FDA、IVD等）対応を進める事により、株主・投資家の皆様の期待に応える成果を着実に御見せできるよう事業を推進してまいります。

引き続きご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

PSSの提案する診断システム

- 全自動遺伝子診断装置
geneLEAD XII



- PSSの目指すバイオ診断分野

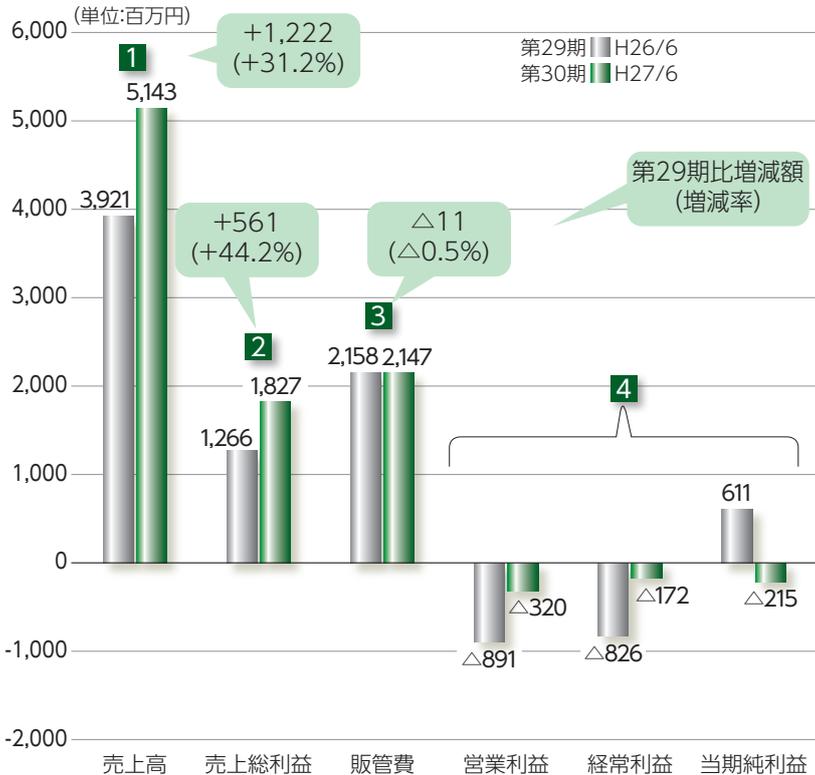
更に詳しい内容のPSSHPコンテンツ

PSSWebサイト>早わかりPSS



第30期(H27/6)連結業績について

- 第29期比増収なるも、引き続き高水準の研究開発負担により、業績の黒字化は達成できませんでした。
- 営業損失と経常損失の赤字額は第29期比改善しました。

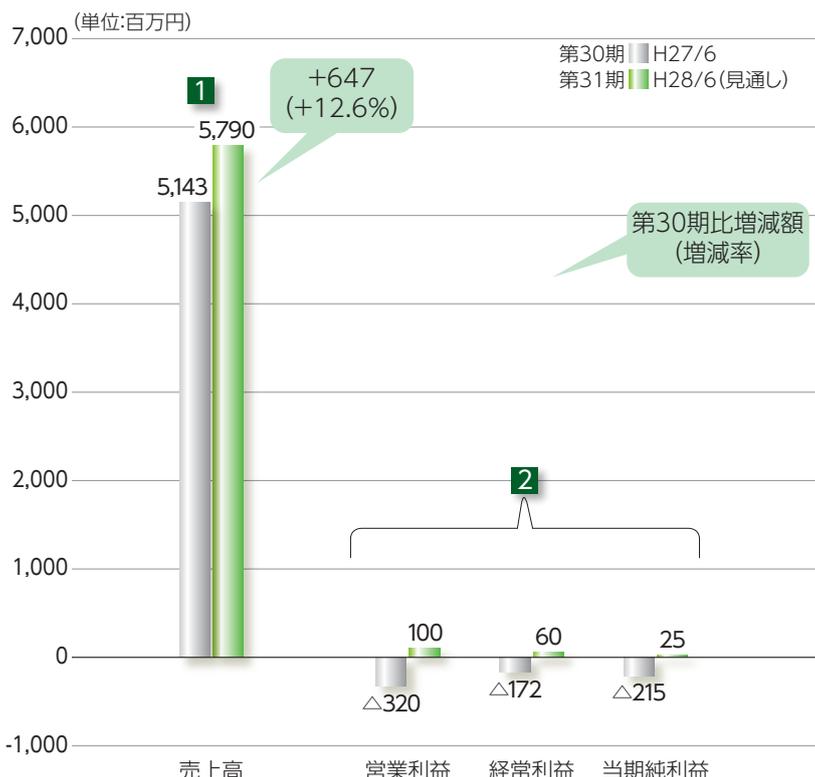


◆第29期(H26/6)業績比

- 1 ▶売上高の増加
既存製品ではキアゲングループ及びナノストリング社向けDNA自動抽出装置の販売が好調であったことと、新製品ではアボットグループ向け臨床診断用検体前処理自動化装置の出荷が順調に出荷しただけではなく、エリテックグループからは「geneLEAD XII」のOEM契約締結に伴い手数料の獲得に成功した事によるものです。
- 2 ▶売上総利益の増加
上記売上増によるものです。
- 3 ▶販管費は第29期並みの水準
上市を控えた「geneLEAD XII」の研究開発費を中心に第29期並みの研究開発費(795百万円)となり、その他経費も概ね第29期並みとなった事によるものです。
- 4 ▶営業外収益発生
為替差益(51百万円)と助成金収入(97百万円)により営業外収益(164百万円)を計上により、経常赤字額は営業赤字に対して縮小しました。
▶当期は純損失を計上
第29期は有価証券売却益の実現による特別利益を計上しました。

第31期(H28/6)連結業績見通しについて

- 第30期比増収増益の見込みです。
- 販管費は第30期比減少により、業績の黒字化を見込んでいます。
- なお、為替の見通しは、1ドル=120円、1ユーロ=130円にて算定しております。



◆第30期(H27/6)業績比

- 1 ▶売上拡大: ①エリテックグループとの提携によるgeneLEADの販売展開(DNA抽出試薬含む) ②アボットグループ向けの装置・プラスチック消耗品に加えて本格的に試薬の出荷が開始される見通しです。
- 2 ▶販管費削減と事業損益の黒字化: 臨床診断分野に向けた製品開発に関する研究開発支出が、第30期においてピークを迎え、第31期における同支出は減少により、販管費は第30期比減少の見込みにて、営業利益100百万円(第30期は営業損失△320百万円)の計上となる見通しです。
▶利益配分に関する基本方針及び配当について
内部留保については、研究開発活動を中心として、企業価値を高める様々な活動に利用していく方針です。そのため、配当と内部留保のバランスをとりながら株主還元を行います。当面の間は、連結での配当性向20%をひとつの目安として運用していく方針です。第31期に関しましては、当社の配当方針に沿って対応する方針ですが、現在の業績予想では当期純利益が25百万円と少額予想のため、無配当の予定にしております。

更に詳しい内容のコンテンツ

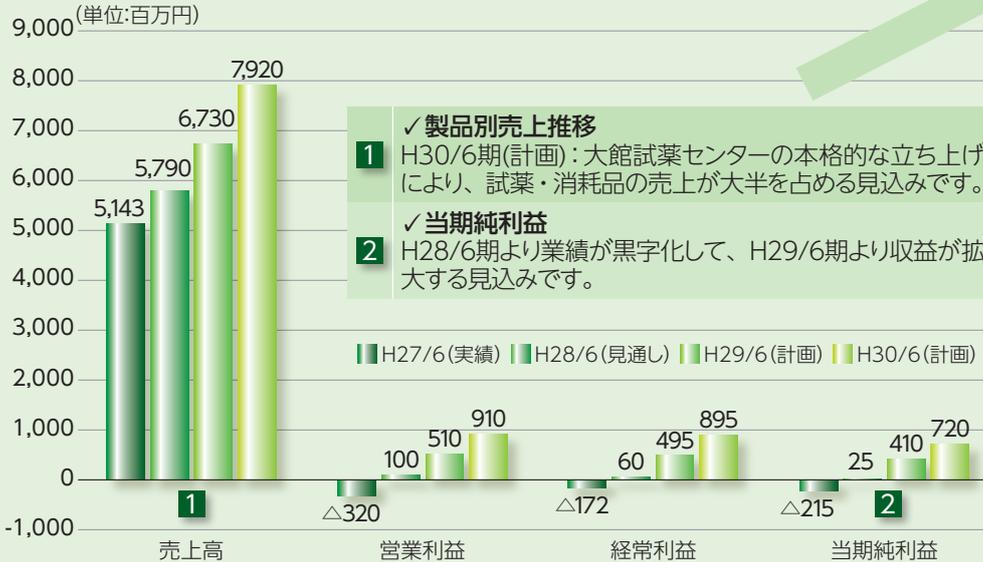
PSSWebサイト>投資家の方へ



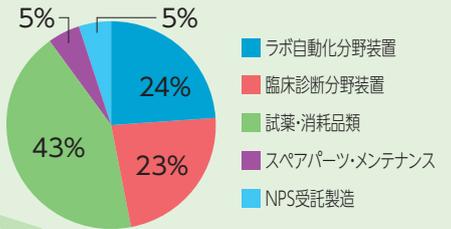
■ 中期事業計画：平成28年6月期～平成30年6月期 (平成27年8月14日)

平成25年8月より、3か年の中期事業計画を策定しています。現在まで、会社の運営方針やビジネスの方向性に変更はありませんが、新製品の開発状況や足元の事業進捗を鑑みて、毎年数値の見直しを実施しています。今回の見直しについては、以下2点を踏まえて中期事業計画の見直しを実施致しました。

- ①平成27年6月期は計画を上回る実績（売上高当初計画45億円⇒実績51億円）となり、また、開発が遅れていた全自動遺伝子診断装置「geneLEAD XII」についても本格的に市場投入の目途がつかしました。
- ②新しいOEM顧客であるアボットグループ、エリテックグループに対する製品供給が開始され、これまでの装置、プラスチック消耗品に加え、本格的に試薬の出荷が開始されます。



H30/6期(計画)セグメント別売上



大館試薬センター作業風景



トピックスの詳細情報は?

- PSSWebサイト「プレスリリース」より
- 中期事業計画(平成28年6月期～平成30年6月期)策定に関するお知らせ
 - 東京証券取引所における上場市場変更承認に関するお知らせ
 - 新株式発行及び株式売出しに関するお知らせ

■ 上場市場変更承認と新株式発行及び株式売出しについて

上場市場変更承認に関するお知らせ(平成27年8月28日)

平成27年9月18日をもって、当社株式の上場市場を東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)から東京証券取引所マザーズへ変更することとなりました。

株式発行及び株式売出しに関するお知らせ(平成27年8月28日)

今回の株式発行による調達資金は、今後の試薬・消耗品事業の拡大に向けた設備投資資金及び事業拡大に伴う増加運転資金に充当する予定です。これにより、中期事業計画を達成し、一層の企業価値向上を実現することで、株主をはじめとするステークホルダーの皆様の利益最大化に努めてまいります。

■ 事業の進捗について

新製品販売

タイの臨床現場で利用されるPSSの全自動遺伝子診断装置「geneLEAD XII plus」(平成27年5月8日)

Dr. Tirawatnpongより臨床診断現場の装置利用者としての立場からコメントを下記にて頂きました。

「私たちの検査ラボにて最近導入された geneLEAD XII plusはとても実用的な遺伝子検査システムとして役立っています。この全自動化遺伝子診断システムが、従来の自動化システムに対する優位性として挙げられるのは、汎用性が高い(多数の検査項目とサンプル対応可能)だけではなく、迅速な処理(従来6時間かかっていた全遺伝子検査工程を2~3時間で処理可能)により、患者並びに臨床診断関係者が大きな利便性のメリットを享受できる事です。」



(写真左: Dr. Thaweesak Tirawatnpong)

■ 人事関係について

取締役及び監査役の選任に関するお知らせについて(平成27年8月14日)

下記のとおり、新任の取締役候補者及び監査役候補者を決定し、平成27年9月25日開催予定の当社第30回定時株主総会に付議する決議をいたしましたので、お知らせいたします。

1. 新任の取締役候補者

氏名	新職	現職
古川 昭宏 (フルカワ アキヒロ)	取締役 営業本部長	営業本部長
Carl Hilliker (カール ヒルカー)	取締役 グローバルビジネス本部長	(当社グループ内組織) グローバルビジネス本部長
上田 哲也 (ウエダ テツヤ)	取締役 診断システム開発本部長	診断システム開発本部長
團野 達郎 (ダンノ タツオ)	社外取締役	—

2. 新任の監査役候補者

氏名	新職	現職
山川 善之 (ヤマカワ ヨシユキ)	社外監査役	・響きパートナーズ(株) 代表取締役社長 ・(株)ユナイテッドアローズ 社外監査役等

3. 退任予定の取締役

氏名	現職	退任の理由
長岡 信夫 (ナガオカ ノブオ)	取締役 大館試薬センター長 ・エヌピーエス(株) 取締役	第30回定時株主総会終了をもって、任期満了となり、退任いたします。

※当社取締役は退任いたしますが、引き続きエヌピーエス(株)の取締役として勤務して頂く予定です。

4. 退任予定の監査役

氏名	現職	退任の理由
高橋 達雄 (タカハシ タツオ)	常勤監査役 ・ユニバーサル・バイオ・リサーチ(株) 監査役 ・エヌピーエス(株) 監査役	第30回定時株主総会終了をもって、辞任するものです。

※当社常勤監査役は退任いたしますが、引き続き子会社にて、勤務して頂く予定です。

(注) 監査役候補者の平山伸之氏が再任された場合には、常勤監査役に就任する予定です。

商号：プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
(英文社名)：Precision System Science Co., Ltd.

設立年月日：1985年7月17日

役員：代表取締役社長 田島 秀二
常務取締役 秋本 淳
常務取締役 池田 秀雄
取締役 長岡 信夫
監査役 高橋 達雄
監査役 荻原 大輔
監査役 平山 伸之

(注) 荻原大輔氏及び平山伸之氏は、会社法第2条第16号で定める社外監査役です。

資本金：2,217百万円

従業員数：196名

(注) 従業員数は就業人員です。(派遣社員、パート等含まない)

連結子会社：Precision System Science USA, Inc. (米国)
Precision System Science Europe GmbH (ドイツ)
ユニバーサル・バイオ・リサーチ(株) (千葉県松戸市)
PSSキャピタル(株) (千葉県松戸市)
バイオコンテンツ投資事業有限責任組合 (千葉県松戸市)
ジェネティン(株) (千葉県松戸市)
エヌピーエス(株) (秋田県大館市)

事業内容：バイオ診断システムインテグレーター
遺伝子・タンパク質関連業界における研究施設(ラボ)の自動化や臨床診断分野向けの各種自動化機器の開発及び製造販売、並びにそれら機器に使用される研究用試薬や診断薬、プラスチック消耗品の製造販売等

株式の状況

STOCK INFORMATION

発行可能株式総数 68,480,000株
発行済株式の総数 18,252,000株
株主数 9,791名

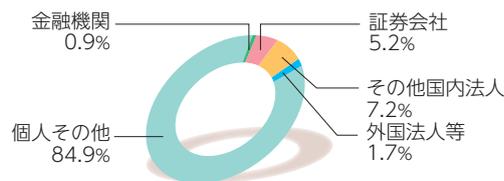
大株主 (H27/6末現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
田島 秀二	4,549,200	24.9
(有)ユニテック	1,200,000	6.6
(株)SBI証券	241,900	1.3
松井証券(株)	203,200	1.1
高山 茂	174,300	1.0
高橋 計行	173,200	0.9
パナソニックシステムクリエイト アソシエーツ	155,600	0.9
日本証券金融(株)	150,500	0.8
小幡 公道	134,400	0.7
楽天証券(株)	125,300	0.7

株主数推移(名)



所有者別保有株式数



株主メモ

SHAREHOLDER INFORMATION

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
 剰余金の配当基準日 期末配当金 毎年6月30日
 中間配当金 毎年12月31日
 定時株主総会 毎年9月
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 公告方法 電子公告 (http://www.pss.co.jp)
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。

お取扱窓口 証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。
 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取次いたします。
 なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。
 お問合せ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
 お取扱店 みずほ証券 本店、全国各支店および営業所
 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。
 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
 ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
 未払配当金の お支払い みずほ信託銀行 本店および全国各支店
 みずほ銀行 本店および全国各支店
 (みずほ証券では取次のみとなります。)

PSS IRメール配信のご案内

PSSでは、個人株主・投資家の皆様とのコミュニケーションをはかるため、Eメール配信を行っております。プレスリリースや会社説明会のご案内等、オンタイムでお知らせしております。
 PSSWebサイト>Q&Aお問い合わせ>PSSIRクラブからメールアドレス登録ができますので、是非ご登録ください。

(将来の見通しに関する注意事項)

本事業報告書では、当社グループの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は、述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。

